

産業技術センターの 活用方法をご提案します

参加
無料

令和3年度鳥取県産業技術センター活動成果発表会

企業の皆さまに産業技術センターの活動を知っていただき **“もっと”** ご活用していただくために、「活動成果発表会」を開催します。第1部では自社製品の商品化や工程改善による生産性向上などの支援事例を紹介し、当センターの活用方法をご提案します。さらに、第2部では分科会に分かれて最新の研究成果等をご紹介いたします。お気軽にご参加ください。

日時 令和3年**11月10日**(水) **13時30分**から**16時15分**まで
方法 オンライン配信します

第1部 特徴的な活動成果報告

13:40 電子・有機素材研究所

所長補佐 吉田 晋一

重点分野「AI・IoT・ロボット」をはじめ、電気電子、有機材料、発酵生産等に関する技術支援や研究開発を行っています。

【特徴的な成果事例】

- ・IoT技術を活用したシステム開発
- ・色鮮やかな新ジャンル日本酒の開発
- ・共同開発した印刷可能な和紙

14:00 機械素材研究所

副所長 玉井 博康

重点分野「AI・IoT・ロボット」「次世代自動車」をはじめ、機械金属分野の設計・製造・品質保証等に関する技術支援や研究開発を行っています。

【特徴的な成果事例】

- ・とっとりロボットハブの活用事例
- ・3Dプリンターを活用した商品開発
- ・共同開発した独自技術の標準化までの道のり

14:20 食品開発研究所

副所長 有福 一郎

重点分野「高付加価値食品」をはじめ、農畜水産物の加工や機能性食品、バイオテクノロジー等に関する技術支援や研究開発を行っています。

【特徴的な成果事例】

- ・病院食用の減塩食品開発
- ・カニ殻成分の有効活用事例
- ・冷凍技術を活用した製造工程の改善

第2部 研究等成果発表

15:00 分野別分科会

3つの技術分野に分かれた分科会形式で、最新の研究成果や保有機器を用いた支援事例について、担当研究員が発表します。

- ・電子・有機素材分科会（AI、有機分析）
- ・機械素材分科会（ロボット、形状計測、無機分析）
- ・食品開発分科会（水産・農産・食品分析）

◎プログラムの内容は裏面をご覧ください。

※分科会を横断することも可能です。ご興味のある発表をご聴講ください。裏面プログラムの「参加希望欄」に○をつけてお申し込みください。

◎当日の進行状況により、時間が多少前後する可能性があります。

◎発表内容についてのご要望・質問等は、別途アンケートフォームにてお受けします。後日、担当研究員がメールまたはご訪問等により回答させていただきます。

[申込方法]

★センターホームページの申込フォーム
<https://tiit.or.jp/3202/5450/w745/>

★裏面の申込書をFAX or Mail

FAX：0859-37-1823

Mail：tiitkikaisozai@tiit.or.jp

★参加方法の詳細については、別途メール連絡いたしますので、お申し込みの際はメールアドレスを必ずご記入ください。

★申込期限**10月29日(金)**



[お問い合わせ先]
各担当者まで電話でお問い合わせ下さい。

電子・有機素材研究所 担当：茂 (0857-38-6200)
機械素材研究所 担当：吉田 (0859-37-1811)
食品開発研究所 担当：梅林 (0859-44-6121)

研究等成果発表プログラム

電子・有機素材分科会

参加
希望

A1	15:00~	【研究成果】人工知能を用いた外観検査判定精度向上技術の研究	電子システムグループ 主任研究員 福留 祐太	
A2	15:15~	【支援事例】信頼性評価ツール（恒温恒湿器、振動試験装置など）による支援事例	電子システムグループ 上席研究員 吉田 大一郎	
A3	15:30~	【研究成果】X線CTによるプラスチックリサイクル建材の内部解析事例	有機・発酵グループ 上席研究員 谷岡 晃和	
A4	15:45~	【支援事例】熱分析システムによる支援事例	有機・発酵グループ 研究員 村田 拓哉	
A5	16:00~	【支援事例】赤外分光分析システムによる支援事例	有機・発酵グループ 主任研究員 山本 智昭	

機械素材分科会

参加
希望

B1	15:00~	【支援事例】鋳鉄の化学成分定量への蛍光X線分析法の適用可能性	無機材料グループ 研究員 田中 俊行	
B2	15:15~	【支援事例】FE-SEM導入で可能となった数万倍の観察が分析に与える影響と将来性	無機材料グループ 主任研究員 松田 知子	
B3	15:30~	【研究成果】視覚と触覚による汎用的な産業用ロボットのランダムピッキング技術の開発	機械・計測制御グループ 研究員 新見 浩司	
B4	15:45~	【研究成果】ハンドセンサを用いたパワーアシスト調整機能付き簡易装着型ロボット介護機器の開発	機械・計測制御グループ 上席研究員 吉田 裕亮	
B5	16:00~	【支援事例】画像測定機導入で広がった非接触形状測定支援の現状と活用方法	機械・計測制御グループ 上席研究員 福谷 武司	

食品開発分科会

参加
希望

C1	15:00~	【研究成果】酸素充填解凍を用いた生鮮用冷凍水産物の高品質化技術開発（ブリの色評価）	水畜産食品グループ 研究員 藤光 洋志	
C2	15:15~	【研究成果】ねばりっこの流通時における保存技術の探索	農産食品・菓子グループ 研究員 高重 至成	
C3	15:30~	【研究成果】液体クロマトグラフ質量分析計によるブロッコリー中の葉酸分析技術の開発	農産食品・菓子グループ 上席研究員 梅林 志浩	
C4	15:45~	【支援事例】黒にんにくパウダー化（真空乾燥機による粉末化）	農産食品・菓子グループ 主任研究員 内川 拓也	
C5	16:00~	【支援事例】賞味期限を延長したニンジンジュース（加速試験の応用技術）	農産食品・菓子グループ 上席研究員 中野 陽	

申込書【申込期限 10月29日（金）】

FAX：0859-37-1823, Mail：tiitikaisozai@tiit.or.jp

センターHPの
申込フォーム



参加する分科会（発表） 上記の研究等成果発表プログラムの参加希望欄に○をご記入ください

企業名

所属・役職・氏名

電話番号

メールアドレス（必須）